

# 「新スタジアム整備基本計画」 概要

平成31年3月27日  
新スタジアム推進事業株式会社

## 1. スタジアム整備の必要性

- NDソフトスタジアム山形は、ベにばな国体の主会場として整備され、陸上競技場が併設された陸上競技場である。
- 客席や設備の老朽化、臨場感の不足。Jリーグクラブライセンス基準(※)に適合していないなどの課題がある。

※Jリーグクラブライセンス施設基準の1つとして、スタジアムに観客席の3分の1以上(B等級)または観客席すべて(C等級)を覆う屋根を備えることとされている。

B等級基準 - 達成しなかった場合に処分が科せられた上でライセンスが交付される基準

C等級基準 - 必須ではないが推奨される基準

## 2. スタジアム整備のコンセプト

- モンテディオ山形のホームスタジアムとして選手が良好な環境でプレーでき、観客が快適な環境で応援することができる、県民がさらなる元気と夢、感動を得られるスタジアムを目指す。
- ホームゲーム開催時だけでなく、日頃から「スタジアムに行けば何かがある」という期待を抱かせ、県内外から人が集まり交流の生まれるスタジアム・空間を目指す。
- 公共、民間がオール山形で連携し、新たな交流機能・地方創生・地域づくりの軸となるスタジアムの実現を目指す。

## 3. スタジアム概要

### 【スタジアム部分】

- 施設用途:サッカー専用スタジアムが望ましい。
- 入場可能人員:15,000人~20,000人
- 屋根:観客席すべてを覆う屋根を備える。(フィールドを覆う可動屋根付きのスタジアムについても検討)
- ピッチ:125m×85m程度  
長軸を南北 天然芝
- 照明:1,500ルクス以上
- ・観客席:メインスタンドは西側に配置  
客席からピッチまでの距離を可能な限り近づける
- ・俯瞰して観戦できるようスタンドの傾斜を高くする。全て個席で、背もたれ・ドリンクホルダー付きシート
- 諸室:観客関連諸室として、会議室や汎用室、パーティー等にも使用できるVIPルーム等を設置
- コンコース:観客が集中するハーフタイムでも、飲食や休憩を行うための十分な広さを確保(バリアフリーにも対応)

### 【付帯施設】

- 駐車場:県民の生活スタイルや県内の交通事業を踏まえると、スタジアム近隣の利用も含め5,000台分の駐車場が望ましい。
- 防災機能:スタジアムは生活施設(トイレ、シャワー室等)が充実していることなどから、発災時には地域の避難場所として活用できる。
- 交流機能:観光施設などをスタジアムに併設あるいはスタジアム周辺に配置することで、地域に活性化と経済効果をもたらすことが可能。また、まちづくりの一環としてスタジアム周辺に様々な施設を配置したりすることで、日頃から多様な世代が集う交流の拠点にもなる。ただし、スタジアム内に施設を付帯させる場合、その費用及び管理費が加わるという点を考慮する必要がある。

## 4. 事業手法

- 事業スキームとしては、民設民営、公設民営(指定管理、DBO、PFI等)、公設公営などが考えられる。
- スタジアム建設には多くの資金が必要であり、公共の関与(土地や資金の提供など)が望まれる。
- この場合の「公共」は県、市町村、国等を含めた幅広い主体、またはその連合体も想定される。
- 特に資金調達面では、民間より公共の方が金利負担が軽く、また、用地についても、山形県内においては民間よりも公共の方が確保しやすいと考えられる。
- 民間については、整備や運営の関与機会を最大限拡大することで、そのノウハウを活用して中長期的に施設の収益性向上を図り、公的負担の軽減・回収に結びつけることができる。
- また、企業だけでなく、クラウドファンディングなどを通して、モンテディオ山形を応援する県民の支援を集めることも可能であると考ええる。

## 5. 場所要件

- 建設場所の評価観点は、事業用地等の確保が確実に実施でき、土壌の安全性に問題がないこと、法規制に係る解決の見通しが立っていること、複数のアクセス手段があることなど。

## 6. 公募の実施

- 整備の主体を公募するものとする。
- その対象は、市町村、広域連携(2市町村以上が連携した共同提案)、一部事務組合、民間企業等
- 提案にあたっては、場所、建設手法、運営・維持管理手法、付帯施設等についての具体的提案を求める。
- 公正な評価を行うため、第三者委員会を組成する。建築、土木、地域経済・観光、スポーツ、都市計画、スタジアム経営などの学識経験者で構成する委員会とする。

## 7. 事業推進プロセス

- 2019年度を目途に公募を開始。
- 第三者委員会において公正な評価を行い、設置団体・場所を決定。
- 事業スキームによって2025年のスタジアム供用開始を目指す。

### 【参考】

#### 概算建設費用

- 他のスタジアムの建設コストを参考に、1席当たり40万円程度を目標として設定。

#### 建設コスト概算 ※( )内は1席あたりのコスト

- A 15,000人収容 65億円程度(433千円)
- B 20,000人収容 78億円程度(392千円)
- C 20,000人収容(可動屋根) 105億円程度(523千円)

#### ICT関連

5億円

#### その他造成・外構工事費

- A 15,000人規模 2.5億円程度
- B 20,000人規模 3.0億円程度

#### 【総額ベース】

- A 15,000人 72.5億円程度
- B 20,000人 86億円程度
- C 20,000人収容(可動屋根) 113億円程度

#### 概算運営・維持費用

水道光熱費、管理費、人件費  
1.6億円~1.7億円程度